〔明治三十年五月十二日第三種郵便物認可〕 昭和七年六月二十五日 磐城新聞 〔土曜日〕 第三千四百六十二號 〔一〕

夕刊 磐城新聞

六月二十四日發行

定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾五錢（郵稅拾五錢）
廣告料金 普通欄 全六號 金六拾錢 記事欄 金九拾錢 五號十二字詰一行（場所指定一行一增）
編輯印刷兼發行人 柏木哲 福島縣石城郡平町田町十六番地
發行所 磐城新聞合資會社
振替貯金口座（タイライワキ）平局私書函第十二號 電話五六四番

（日曜祭日翌日休刊）

小野君へ贈る（下）

『黒土會』 吉澤生

僕はこの意地張根性的感情から都會を排撃嫌惡する事に耐へられなくなつて來た。そして都會文明の長所を經濟的、時間的に許される最大範圍内に於て農村生活に取入れもつて農村に於ける現實生活を淨化し、明るくし、樂しくしすべき必要を感じ出した、そして眞に地上を樂園化したいと思ふのである。

×

絕對的自給自足は今や不可能である、そして時代の變化極まりない進步には土の子であり、自然及び太陽の子である吾々純農民も全く無關心な生活は許されなくなつた、もし許されたとしても、それは完全なる社會生活と云へるだらうか吾々は出來得る限り時代の推移に鋭敏でなければならなくなつた、と同時に社會の變化も文明の發達をも何時も正しき農民精神の立場から批判し檢討を怠つては農村をしてより合理的方向へ押進めることが出來なくなつた。所謂農民の社會文明に對する正當な認識の把握だ、自覺せる農民の政治的進出だ。

元來生活改善とは必ずしも生活程度の引下を意味するものではない、それは未曾有の不況時代に遭遇しつゝある故か、生活程度の引下げや、節約緊縮が唯一の生活改善策と誤認さるるは遺憾である、勿論冗費節約無駄排除も必要であり、生活程度の引下げも沒却すべきものではない、唯それ等の實踐に依つて唯でさへ無味乾燥に流れ易い吾々の生活を更に忍び難いものにすることは少なくとも生活改善の本旨に違反はしないだらうか勿論今日の如き不況時代には相當の苦しみは覺悟の樣だ、しかし苦しみの反面にも尙ほ明るい生活を欲することは人間自體の欲望である、その欲望が滿たされる事に依つて愉快に働くことが出來、能率も高まるものであらうと信ずるものである。

×

消費萬能の都會生活をその儘そつくり農村に取入れるのは至難だ、僕の茲に言ふ農村生活のモダーン化とは確固たる農民イデオロギーの下に都市に發達せる文明の種々相を檢討し、それ等の中より農村生活に必須なる主要部分のみを取り入れる事であつて、必ずしも農村生活の都會化ではない今更僕の言ふまでもなく、現在の農村生活が原始的傳統的農村生活から、現代文明若しくは流行思潮に順應した近代色豊かな農村生活への轉換期にあることも事實だ、それも又引合はぬ農業から引合ふ農業へ押進むべき一つの進路である。

農村生活のモダーン化、それは漸進主義なるべきだ最後に結論としてこれだけは言ひ添て置く、如何に生活を明るくするためとは雖も經濟的盲目である勿れかゝる純農村生活のモダーン化を自給自足精神を基調として建設するのだ。（完）

時代警語

○虎を畫いて狗に類す…………（[illegible]考）

英傑の風貌を學び却て自ら無頼漢となるもの、世には往々見聞する處である…………

磐城歌壇

寄稿 平町 山村茂雄

○むらぎも A

○父死して二年經つる此頃になりて屢々夢にみるなり
○年を經て疎くなりゆく淋しさよ父のたちびを忘れ過しつ
○父に似てはらからはみなかん强し我は遺傳の恐ろしさを思ふ
○無頼者の我を賴れる母思へば我の命のかりそめならず

社會の今日

6月25日

△知事藩祿を改定し士族を作る（明治二）
△皇太后陛下御誕生（明治一七）
△日本共產黨の統一公判東京地方裁判所で開廷
△日本勞働クラブ成立右翼と中間派勞働團体握手す（昭和六）

○

聖十字星の輝く海で荷を積んだ、時計も鳴るか日本を戀ふて　川崎むつを

送りゆく牛込見附の青あらし兒が夏服を吹きてすゞしも　金子萱園

泥試合の理論的敗北

片寄對島田の論爭について

美澤光夫

A

本紙十四日より十七日にかけての片寄對島田兩君の論爭は實にコツケイである。あれは文學的論爭にあらずしてお互の人身の攻擊である。人身の攻擊はその人の理論的敗北を意味するものでなく、又自己の理論的眞理を意味するものでもない、事が文學的問題である以上それは文學的範圍内で論爭すべきであると思ふ。要するに感情的問題上から相互の理論的追求をなした結果の當然の歸結である。

論爭の直接的導火線となつたのは島田春夫君が『新イワキ』新聞に書いた詩南社批判が主体であつたようである。

既成文學を背負つて立つ詩南社は現在非常な沈退した空氣の中に有るようである。しかも發展もしなければ退却もしない同一軌道をどう〳〵廻りをして居るのである。

其の最大なる原因は木兎莊なんかと云ふ樣な人々の鼻意氣をうかゞつたり敎育家？なんて云ふ人々の納得し得る樣に製作せねばならぬからであると思ふ。編輯の人々に言はしめれば財政的援助をして貰ふ關係上やむを得ぬと言ふかも知れないが文學は決して敎化團体に從屬すべき存在ではないリベラリズムの立場からお互の思想感情を表現するにあると思ふ。然も雜誌が文學的グループを以て結成されて居る時尙然りである。磐城文壇のオーソリテーを以て自負せるそして又そのヘゲモニーを握つて居る詩南社の古典的根據を明確にすると共に雜誌としての詩南社の沒落である。

今度載つた『ランデブ漫談會』はこうした空氣の中の產物としては大きい、然し其れは詩南社と云ふ小さな存在の中から見る時であり、其して又營業的見地より見て時代相を把握した。つまり現在に於てフレッシュな詩南社たらしめんとする爲の苦悶の結晶である。決して文學的價値のあるものではない。然し後援者である爲に指導者である老大家は喜びはしないだらう事は火を見るよりも明らかである。

だが次の號にフレッシュな姿として詩南社があらはれる爲には詩南社は何をせねばならぬか、既成文壇は行きつまつた、詩南社は何處へ行く！、彼は發展せんとして自からその墓穴を掘るのである。

片寄君はこうした背景を負つて出た立役者である。

それから島田君の背景たる海岸線は、島田君に言はしめればプロレタリア文學活動をして來たと云ふのである。其の證據として文戰黑戰當りの人々を招いて文藝講演會をしたり脚本朗讀會を開催したりしたと言ふのである。

拈華微笑

◇武人最高の榮譽に在天の兩勇士莞爾たらん、英靈永へに安かれ
◇湯本全町の大動脈麥々と波打つてけふ上水道開門式
◇運賃が下らぬと口が干上る。悲しい景氣の天秤
◇五百圓に引下げても之れ以上はゴセン資格者
◇平署の不良飮料征伐、サイダーを飮んだ後のやうに胸がすいた

講談 お蘭陀お蝶 (64)

渡邊默禪作 布施長春畫

『おや平山さま、どうしてこんな所へ迷子になりなさる程召上りしないくせにお門違ひを遊ばしましては困ります、卑怯とは貴客の事でお酒の席から背後を見せるなんてお武家の恥ぢやございませんか、オホヽヽ、さあ追手のかゝらぬうちに早くお席へお戻り遊せな』

如才なく受け流してお柳はつと取られた手を振り放した。

『これ、左樣なことを申して追ひ拂ふとは、情ないぞ〳〵折角頂戴いたす酒も地獄から抹香の相場を聞きに來た樣な野郎共の酌では白湯の味もいたさんではないか、酌は美人と昔からチヤアンと定つてゐる、其許のやうなあだ者が居ればこそお正月の樣な氣がするのぢや』

ひよろ〳〵とした足取りで寄つて來て、避けようとしたお柳の袂をぐつと取つた。

『あれ御免遊ばせ、私はまだいろ〳〵用があるので御座ゐます、與におゐでなさる若樣に御食事を差上げなければなりませんし、外にお客もゐらつしやることですから、どうぞ御戲談をなさらずに……』

『なにさ若先生などはどうでもよろしい、先づ身共の申すことを聞けこれ』

と外に人氣のないを見澄まして急に低聲になつて

『其許はまだ獨身であらうなア』

『……』

『とあれば追つては然るべき良人を持たんければならぬ、持つなら生涯連れ添ふ男のことぢやで隨分と吟味をせんけりやなるまいなア』

『……』

『吟味をしても借てないのが心に叶ふ男兎角に駿馬痴漢を乘せて走るといふのが落ちや、いやそこへ行くと緣は異なもの結びの神がぐつと氣を利かして其許に恰ど好い蝶金を授けたから不思議ぢや』

『……』

『それこそ天下無双の英雄拔山蓋世の豪傑ぢやぞ、どうぢや其の者を夫に持つ氣はないか』

『オホホホ、默つて承るとお妙なことをおつしやる、そのお方は一体どなたでございます』

『誰でもない、俺だ身共ぢや』

『オホヽヽ、』

『何が可笑しい』

『何を、此奴』

惡口說きも半ば酒の勢ひをお柳は力任せに突き飛ばしてばた〳〵と逃げた、が、ちやうど響を臂の下に重ねた皿が五六枚微塵に碎けた

『あッ痛い、おのれよくも男子に恥面かゝしたな、覺えて居れ……』

五ツ半――九時頃になると若い門弟共は大抵歸つて殘つたのは中年者、小泉、瀨田、庄司、大井、近藤、渡邊、橋本、松田、河合の外にお柳を口說いて彈られた平山も何喰はぬ顏をして席に戾つて來る。

『もう大分靜かに相成つたさて是からが吾々の世界豫ての一條について密議をいたすには至極宜しい機會でござる、先生、個樣に顏の揃ふた時は滅多にございませぬで何と少頃の間方々の御相談を願ふ事に仕つては如何なものでと』

眞先に小泉滿次郎が發言したと次席の瀨田濟之助が

『いかさま、それが宜しい一年の計は元旦にあり事初めに行先の手筈を牒し合はせ、快く祝盃を擧げてお別れに致そうではござらんか見受くる所、何れも與黨の一味そのお心なればこそお止り召されたであらう』

ラヂオ

仙臺 JOHK …二十五日（土曜）…

△前六、〇〇A ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象
△九、一〇 料理獻立（胡瓜料理二種）小野やす子 日用品値段
△一〇、三〇A 婦人講座（國民の保健と癩病）子爵三室戸敬光
△正午A 時報
△後〇、〇五C 歌謠曲と尺八（一、夜の歌 二、春の流れ 三、若葉）大島鴻山 北川雅樂能 秋田菊山 外
△〇、四〇A ニュース 氣象
△二、〇〇A 家庭講座（箏曲）實演解說…宮城道雄 唄…牧瀨數江
△三、五〇 六、〇〇A 運動競技（ハワイ大學對東京俱樂部野球試合狀況）明治神宮外苑球場より中繼
△三、四〇A 氣象
△四、〇〇 ニュース
△六、〇〇（子供の時間）童話劇（田村三代記千熊丸）童史劇會 小倉博作 出演…仙臺兒童
△六、二〇A コドモの新聞 村岡花子
△六、二五A カレント、トピックス ハロルド、パーマー
△六、三〇A 英語講座（中等科）久野朔郎
△七、〇〇A ニュース 氣象 生繭相場
△七、三〇C 講演（精神生活の基礎）大谷派本願寺管長大谷光暢
△八、〇〇 講演（ラヂオの發達に就て）仙臺遞信局長安光元一
△八、三〇 民謠（一、おばこ節 二、港音頭）酒田町小萬 駒子 欣也 外
△九、〇〇B 連續講談（加賀評定織田大炊）旭堂南陵
△九、三〇A 時報
△九、三一A 滿洲より講演 熙財政總長 丁交通總長
△九、四五A ニュース 氣象 生繭相場

舊五月二十二日

土曜 丁巳 友引 閉 柳宿 六月二十五日

諸判定應需 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

▲一白の人 一戰一戰敵地を侵略する如く勝利を得べし▲二黑の人 人にまん着せらるゝ事あり金錢取引特に注意▲三碧の人 安全を期せんには心靜かに本業に從ふべし▲四綠の人 一旦の利あらば退きて出直るによろしき日▲五黃の人 他力を賴みとせずじ己の力にて進むがよし▲六白の人 衰運の日百事差控ゆべし普請移轉開店大凶▲七赤の人 上下の親み薄く反目を來すべき日證文注意▲八白の人 榮達を期して空想に終る日病厄盜難等注意▲九紫の人 平運なれども方針を誤り失敗ある危險の日

寄生虫驅除

磐中で海人草使用

磐中では寄生虫驅除の爲毎年二回全校生徒に海人草を服用せしむる事となり明二十五日放課後第一回を實施すべく家庭の諒解を求めたが一年四組の生徒及び運動選手の糞便は今後五ケ年繼續して細菌研究所の檢鏡に附すると

磐城セメント定時株主總會

磐城セメントでは二十三日午前十時より丸ノ內生命保險協會に於て定時株主總會を開き當期利益金年五分一分增及び社債金二百七十萬圓募集の件を附議し何れも可決した、尙ほ右社債に來る十一日償還期限到來の舊債一部借替のため利率七分を以て發行するものである

植署管內違反件數

植田署去月中の各種取締規則違反檢擧件數は銃砲商、森林法、自動車、漁業、牛馬、屠物各違反一件宛合計六件で昨年同期の三件に比し倍加を示してゐる

及川日照歸る

過般平町南町民政黨院外團長齋藤覺治氏宅に寄寓してゐた及川日照（三七）は警視廳で取調の結果血盟團と何等關係なかつたらしく廿三日歸平した

磐女校歌打合

磐女正木校長は今二十四日學事視察の爲仙臺市へ出張の序を以て土井晚翠氏に面會校歌作成に關し具体的打合せをなすと

各校欠食兒調べ

平町小學校では兩三日來欠食兒童の調査中であるが目下の處第一には該當者なく第二は三名、第三にも若干あるらしいも果して貧困の爲かどうか精査中であると

平町慶弔錄

△出生 新川町三茨城縣稻敷郡朝日村荒川沖八二〇丹野藤四郎六女ユク子
△婚姻 四丁目三八白土喜市（三〇）草野村神谷御城一一〇四家ツキ（二四）
▲死亡 鎌田町四草野村下神谷表側三〇佐藤藤次郎

別府温泉デ名高イ岩里家ノ家傳秘藥
烈シキ痛ミ、血ウミ、コシケ止ル事妙ナリ
爆彈的百パーセントの効果
登錄商標 岩里別府淋藥
黒箱―金參圓 赤箱―金五圓
無効返金藥（二日内服効無キ時ハ藥引替ニ即時返金ス）
白藥盡キテ最後ニ服ム可シ
責任卽効秘ヤク

登錄商標 岩里 別府黴毒丸
効目的確の高貴やく
金貳圓 金參圓 金五圓

別府皮膚藥 金三十錢 金五十錢
別府温泉特有湯ノ華製劑ニテ皮膚病最高の權威藥
發賣製藥元 別府市鶴外園 岩里天然堂
代理店 平町三丁目銀行橫町 渡邊いと

こしけ りん病 永らく病む人の福音
天下の名湯別府温泉で出來た（無効返金責任藥）
登錄商標 岩里別府淋藥
全國知名新聞雜誌推獎―こんなヨイクスリ未だ知らない方がありませうか。右は岩里家古來より家傳秘法藥にして男女血ウミ慢性淋病コシケ消渴の痛みは不思議に止り連服するも絕對胃腸障害なき名藥であります。尙ほ此の藥は責任速効藥で二日內服して効無き時は殘藥引換に全部異議なく返金します、論より證據服藥した人は皆全快喜んで居られます。慢性、惡性頑固性の人は七日以上服用して下さい。
◎美本淋病治療書無代進呈（此の新聞名記入申込者に限）代金引換廿三錢手數料前納の事、前金申込者には送料無料送藥す。
藥價…急性用 黑箱 一週分 金三圓
慢性、惡性用 赤箱 一週分 金五圓
特約一手販賣 平町古鍛冶町一〇 阿康藥舖 縣社の下（電話四四番）

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋 和洋銅物 （久） 釜屋商店
磐城國平町五丁目 電話九番 九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は（久）の生命なり

葬祭の造花は美しくして他の追從を許さざる勉强振りの博盛堂へ
店主 松本幸松
平町揺槌小路一番地 電話（呼出）五三五番

吉田眼科病院 平町紺屋町

小泉老町長以下立會 湯本上水道けふ開門式
劃期的の事業完成に漲る歡喜

湯本上水道敷設工事中、水路隧道大小九個の開鑿は入山炭礦に於て町の委託を受け堀江工業會社の手によつて鋭意工程を急いだ結果豫定より遙かに早く而も最も優秀なる成績を以て過般全部の完成を遂げこの程その仕上げを了したので吉田入山所長及見學の會田磐炭病院長の一行は昨二十三日午後一時半から吉田同町水道主任技師、江口堀江工業社長の案内で內郷村地內高坂濾過池より大小九隧道の實地踏査を遂げたが今二十四日は午前十時小泉町長以下水道委員其他關係者三十餘名立會ひの下に好間村內の草の取入口に於て小泉町長により開門式を行ひ通水開始と共に一同取入口、各隧道、高坂濾過池の視察をなした、因に本日の通水は高坂に放水し爾餘は今後工事の進捗に伴ひ鐵管掃除の上全町に亘る正式使用は九月頃になるであらうと

中田西牧兩伍長に 金鵄勲章の御沙汰
昨日第二回論功行賞發表

畏き邊りでは去月十八日第一回滿洲事件戰死者に對し金鵄勲章を下賜遊ばされたが二十三日更に第二回の論功行賞の御沙汰あり賞勲局から發表された、今回の行賞は昨年十月三日から十一月十二日まで江橋附近の戰鬪における戰死者四十七名を合せ七十一名中內三名を除く六十八名は全部金鵄勲章である內郡關係分

△功七旭七歩兵第二十九聯隊伍長中田七造（江名町）△功七旭八野砲兵第二聯隊砲兵伍長西牧重政（湯本町）

全國鑛山監督局長會議で 運賃値下を檢討
成り行き刮目さる

苦況のドン底に喘ぐ常磐炭界にとつて唯一無二の救濟策たる運賃値下げ問題は既報の如く鈴木代議士の今議會に於ける建議案提出及之れと相呼應して行はれたる常磐石炭鑛業會の陳情等によつて今や全面的に多大の關心を拂はるるに至つたが來二十八日東京に於て開催さるる全國鑛山監督局長會議に於ても當面の重問題として之が議題に供せらるるものの如く仙臺鑛山監督局では目下管內各炭鑛に亘り實際窮乏の調査資料を蒐集中で成り行きを刮目されてゐると

平俱對磐炭は明日に
田村中學の來戰で 實業野球繰り上げ

磐陽實業野球大會に於ける入山對遞友、磐炭對平俱の強豪試合は二十六日午前九時からの處田村對磐中、平商と重なるので明二十五日に繰り上げ午後三時から磐中球場に平俱對磐炭の試合を行ふべく決定したが入山對遞友が二十六日田村對磐中の試合後行ふとせば平商と田村の試合が見合せねばならぬ事になるかも知れぬので其邊手違ひ無きやう目下關係者で交渉中である

。。。。。。

平商職員チーム　今二十四日左記職員チームを組織した、キャプテンは室原教諭

（投）阿倍（捕）宮澤（一）泉田（二）武川（三）矢野（遊）大澤（左）下山田（中）新田（右）駒場、中村、服部

。。。。。。

三丁目對大室屋　二十四日午前四時から平第三校で六對五、三丁目勝つ

平商捷つ
古河對庭球戰

平商校對古河の庭球試合は昨二十三日午後二時より古河コートに於て行つたが結局平商齋藤、安島組優勝した、戰績次の如し

平商　古河

木田 塚本 4—1 鎌田 石川
鈴木 本多 0—4 荒川 雲村
柚木 鈴木莊 0—4 安西 大石
岩佐 小林 2—4 大沼 鈴木
安島 齋藤 4—3 柚木 佐藤
小齋 佐藤 1—4 石井 田中

第二回戰

木田 塚本 3—4 大沼 鈴木
齋藤 安島 4—3 大沼 鈴木

少年職業紹介事務打合會
指導デー其他協議

平職業紹介所では昨二十三日午前十時からマルトモホールで關係十四校の少年職業紹介事務打合會を開催一、第二回全國職業指導デー實施、二、職業實習並に見學、三、性能檢査の三件に就き協議した結果二十五日から全國一齊に施行される指導デー週間中の催として聯絡各學校では夫々講演を行ひ六年以上の生徒に就いて希望職業並に希望學校の調査を行ふ事となつた外紹介所としては町內要所にポスターを貼り職業指導心得を配布し文部大臣の講演要旨を印刷し趣旨の徹底を期する事となつた

小川江改修調査
內務技師一行の來郡に 目的達成を意氣込む組合

四倉町外六ヶ村二千二百餘町歩を灌漑する小川江筋改修工事實地踏査の爲め農林省柴戶技師外四名は今月三十日來郡し縣耕地課堤技師外二名と共に來月一日から六十日間に亘り詳細調査の上改修方針を決する筈であるが二十七日平園体事務所で開催する同組合の臨時總會には之に要する追加豫算其他を附議し飽迄總工費三十萬圓四ヶ年繼續事業として當初の目的貫徹に邁進すべく縣及び農林省當局へ猛運動を開始する事となつてゐる

矢田川筋改修陳情
駒木根村長等出縣

鹿島、玉川二ヶ村を貫流する矢田川は水源が乏しい爲炎天日ならずして渇水するは勿論昨今の如き雨不足に際しては流域の一部が挿秧不可能なると反對に一朝雨續きの場合は直に濁流の爲提防欠壞し田畑の冠水、土砂の流入等その被害少からざる爲地元住民は同河川の徹底的改修方を要望し毎年縣へ陳情中であつたが殊に昨今の如き疲弊の極に達してゐる折柄萬一水害に見舞はれ今秋の收獲に影響するが如き場合ありとせば正に致命的の大傷手を被る事となるので駒木根玉川村長外村議多數は兩村民の連署を取纒め昨二十三日出縣、縷々陳情した

滿洲行　藤田中尉
—（第十二信）—

。。。。。。沿路奉天へ（續）

◇安奉線の各驛には其損害の差こそあれ昨年來馬賊兵匪の被害を蒙らない所とては殆んどないが連山岡より奉天に至る沿線一帶は日露役に於ける本格的の策戰地として其武勳を物語らざる戰跡たらざるはない靡天嶺然り詩的にも有名な月下の夜襲彼の弓張嶺も程遠からざる所にある、畏くも閑院宮殿下の記念の名稱『宮の原』に至れば右に車窓近く

◇殿下の記念　碑あり大書して『閑院宮奮戰の所』とある大倉經營になる煤鐵公司の本溪湖に着いたこの地一面は全く重疊たる山岳同車の誰人かゞ滿洲といふ所は廣漠たる平地で山等は見たくとも見られないと聞いてゐたになんだ山又山ではないかと獨言を言つて居たこれ程內地に似通つた地形だ、否頭山の戰跡も過ぎり沙河會戰滿洲軍の

◇總司令部の　あつた荒山、山田旅團の激戰地萬寶山の記念碑も遙かに瞥見しつつ戰史に有名な渾河の鐵橋を踏み越ゑて目指す奉天に入つたのが六月三日の午後四時廿分である。（六月三日午後六時、奉天宿舍にて）

◇驛のホーム　には官民多數の盛んな歡迎を受けたが殊に私共の嬉しかつた事は吾等の聯隊駐剳歩兵廿九の懷しき先輩將校各位の打揃つた出迎へを忝し而して颯爽たる其英姿に接した事である實戰にかけてはすばらしく強い聯隊長だと部下畏仰の的となつてゐる平田大佐も謙讓な挨拶をされて居た、勇敢無双な武人。だが

◇同條と交を　結び部下を可愛がる事恰も慈母の如き稻見中佐も眼に涙して喜んでくれた、双城堡の戰闘で足に重傷を負ひ敵彈雨中に身をさらし乍ら尚ほ且つ部下の危険をのみ顧慮して自己の救援を峻拒して已まなかつたと云ふ聯隊副官佐藤少佐も我が事の如く喜び迎へて呉れた。渡滿當時の聯隊旗手竹島中尉や同じ中隊で同じ様な起居した

◇紺野中尉も　元氣な顔を見せてゐた、事變以來ご幸に武運長久で御同慶に堪えません、と云ふと、いや出征以來種々と御高配に預り誠に感謝に堪ねません、今回は又遙々御苦勞様でした、さぞ御疲れでせう。と答ふ、實戰の氣持ちはと折返すと、默して語らず、頻に暗い顔をするのだ、多分同僚部下の戰死を偲んで一念悼ましくのみ思ふのであらう

◇一意亡き戰　友の身上を思ひ默して自らの武勳を語らざるの心人に將たる武人の面影正に躍如たるものあり私は一種神々しい感に打たれたのだ。

各地繭市況　廿三日

四倉　白總貫數千六百五十八貫、最高二十六圓五十錢、最低二十圓二十錢、買馴二十五圓十錢、掛目二十一、黃總貫數七百十二貫、最高二十五圓六十錢、最低二十二圓、買馴二十四圓六十錢、掛目二十一

植田　白總貫數百十二貫、最高二十四圓、最低二十圓、買馴二十三圓六十錢、掛目二十、黃總貫數最高二十五圓、最低二十一圓八十錢、買馴二十四圓三十錢、掛目二十

勿來海岸の砂漠に 松樹の造林計劃
明媚の避暑地化期待さる

勿來町海岸の砂漠地に對し本縣山林課では縣最初の試みとして松樹の造林を計劃し過般縣技師等來町し町當局者と共に實地調査の結果有望地として折紙を付けられたので愈々初年度は約一町歩の植付けを實施すべく手配を進めてゐるが之れが施業費は第一回目四百圓を要する筈で完成の曉は同海岸に一層の風致を添へ好適の避暑地として少からず價値づけられるものと期待されてゐるが尙炎城縣では既に村松に右の事業を行ひ好成績を擧げてゐるに鑑み當局では非常に意氣込んでゐると

豐間區民大會
保安林解除 反對を決議

豐間村大字豐間字合磯二六九地內坂本信吉所有林六反八畝は今回森林法に依り保安林解除となつたが同保安林が解除伐材されては同地海岸保安上支障甚だ大なるものあるので同村では二十二日區民大會を開き解除絕對反對を決議し鈴木村長は近く出縣當局へ反對の陳情をする事となつた

身の毛もよ立つ！ 約一割の不良品
小賣店頭の飲料水檢査成績

平署では愈々傳染病發生季に入つたので此程町內小賣商店に向つて清涼飲料水の一齊檢査を行つた結果驚くべしレモン水百六、サイダー四十九、ビール六十八、ラムネ百六十九、酒二十合計四百十二本の檢査全体の約二割に相當する不良品を發見昨二十三日夫々處分したが之に鑑み近く管內全般に亘り嚴重なる檢査を斷行する事となつた、右に就て伊藤署長は語る

壜を倒にして底からもや雲の樣な挾雜物が下りて來るものや王冠を拔いても泡立たぬものは危險である、挾雜物は黴の固まり又泡立たぬのは製造時に壓入ガスの足りぬもので壓で抑へられて居た醱酵がすゝみ菌が蒸殖して居ると思はねばならぬ、尙びんを透視して塵やブラッシの毛が混じたりシロップ等に蟻の入つて居るのが稀にはあるが之は製造時に不潔に取扱はれた證據で絕對に避ける事だ、それからスカッシュも時には腐つて黴を生じあけると特異の腐敗臭を發する事があるから氣をつけねばならぬ。

互選資格者
平町は依然四名

平町の多額納稅議員互選有資格者は本月一日現在で直接國稅六百圓以上の納付者諸橋久太郎、山崎與三郎堀江正茂、百澤易興四氏の該當者を縣に報告したが縣では定員不足の爲め昨二十三日更に標準額百圓を引下げ再調査方を通知し來つたが右四氏の外之亦該當者なく本日其旨通知した

平町會

明二十五日午後一時から開催左の議案に於て協議する

△特別稅戶數割賦課額決定、歲入出追加更正豫算、小學校敎員死亡給與金給與、特別會計水道給水事業費流用、蠶業取締所支所敷地無償貸下、寄附採納、區長推薦、鑛業採掘願に關する諮問

小名濱の實父射撃犯人 平署からけふ送檢
被害者は經過良好

旣報小名濱町上明神町の實父射撃犯人須賀川町馬場東居住石川郡川東村小山田南四生れ西間木武（三三）は引續き平署に留置中であつたが取調べが了つたので今二十四日送檢平支部の豫審に附された、尙被害者喬藏は平町南町上田病院で加療中で胸部の彈丸は未だ取去るには至らぬが經過頗る良好で生命には別條ないらしく經過を見て彈丸除去の手術を行ふ筈である

井上 野崎 兩縣議
今夕四時半歸平

在滿將士慰問の井上、野崎兩縣議は今二十四日午後四時三十六分平驛着で町內多數有志に迎へられ歸平した

平に潜伏？
逃走酌婦搜索願

山形縣北村山郡東郷村大字沼澤末吉長女鈴木ミサオ（一九）は郡山市堂之前飲食店山本ます方の酌婦をして居たが十六日前借三百二十圓を踏んで逃走平町方面に潜伏してゐるらしいとて昨二十三日平署へ抱主から搜索方を願ひ出た

醜業はいや
女給が自廢願ひ

上小川村大字横川鈴木文法長女マツヨ（一八）は今月始め好間村大字中好間字上野原西洋料理店田中屋事瀨谷こと方に前借二十圓で女給に住み込んだが主人に醜業を强いられるとて今二十四日平署に出頭し自廢方を願ひ出た

前借踏み判る

東京府下寺島町七一料理店岡根方抱酌婦岩手縣膽澤郡水澤町生れ佐々木初代（二二）は九日前借八十圓を踏んで逃走昨二十四日四倉町料理店小松屋で酌婦をしてゐるのを四倉署員が發見取押へた

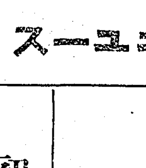
若僧が喫煙してお目玉

平町新川町三一柴田市太郎長男重太郎（二〇）は未成年喫煙の廉で今二十四日平署の說諭を受けた

。。。。。潜り灸燒き　磐崎村大字藤原字馬喰坂居住京都府笠置村生れ油行商廣瀨忠一郎（六九）は無免許で田村、双葉兩郡並に茨城縣日立礦山附近で灸術を行つてゐたこと發覺今二十四日平署に檢擧された

商業校へ賊

平商校へ昨二十三日午後十一時頃西側便所の雨戶をはづし職員室に忍び込み運動具、靴ズボン、着物、洋傘等を窃取した犯人あり目下平署で嚴探中である



各地情痴ニュース

△淫亂婆の罪狀　愛知縣丹羽郡大口村河北の小川ぎん（六七）は若いツバメ岡本民三郎（三三）が同居先松五郎の妻かぎと情を通居邪推の結果松五郎方に放火したので懲役二年半の言渡しを受けた

△肱鐵とお繩頂戴　廣島縣沼隈郡鞆町後地生魚行商株本種松（四三）は豫て關係のあつた阪本シゲコ（四〇）の妹フミ子（二二）が夫と別れて姉と同居してゐるのを奇貨としてヒソカに云ふ寄つたところ美事な肱鐵を頂戴したので出刄庖丁で脅かし付けた事其筋に探知され住居侵入及び脅迫罪として取調べられてゐる

△哀れ失戀坊主　福井縣武生町某寺番僧川井乘念（二二）は檀家の娘吉川かず子（一八）と馴落、敦賀で女を連れ戻された事から一路佛樣にマイ進すべく自殺を決意行がけの駄賃にせめてもと大津市下柴遊廓附近で飲酒中を保護された

△橫戀慕の忠公　京都市東山區今熊野寶藏町の陶器工清水忠雄（二三）は近所の宇野きみ江（一九）に惚れ込み同女につきまとつては變な態度にいでゝゐたが娘の身に危險を感じた父が同女を親戚に預けたので忠雄は父に暴行を加へたと

△人形抱て自殺　東京市外中目黑五五目黑ホテル廿三號室に投宿中の市外玉川村奥澤二七五天理敎布敎師宍戶萬吉長女武子（二一）は猫イラズを嚥んで白裝束姿も痛々しく愛人に模したものらしき男の人形をシッカリ抱いて死亡してゐるのを發見された

廣告

恩給年金 簡易保險加時 立替
無盡通帳 其他債劵 賣買
平町一丁目一四番地 鈴木重藏

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社重油特約店
關彰商店平支店 電話六一番
本店 水戶線下館驛前（電話五五番）
支店所在地
茨城縣土浦町田宿（電話六五三）（電話八二四）
常磐線關本驛前（電話平潟五四）
常磐線四倉驛前（電話四八）
營業種目
石油、揮發油、輕油、重油、モビール油、マシン油、機械油類、胡麻、種水、植物油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ……（型錄進呈）
◇安全、便利、經濟のスタデリナ石油コンロ
◇完全燃燒のネンショーストーブ

美味百パーセントのうなぎ料理……
大蒲燒 一人前 四十錢 二人前 七十錢
うなぎ丼 細丼 二十錢 並丼 二十五錢 上丼 三十五錢
……外に…… ◇親子丼 拾五錢 ◇柳川 二十錢
御客本意の勉强振り御試し下さい。
●出前迅速!!
二丁目（佐野屋旅館隣）
日の出・うなぎ食堂 電話六〇九番

初夏サロンの新裝
店內清楚にして氣持良く
アイスクリーム（十五錢）
タンク入りソーダ水（十五錢）
ドーゾ御用命を……
田町 サロン 電話三五二番
（男給見習數名募集）